



国際第3委員会の活動内容と方針

□ 活動内容

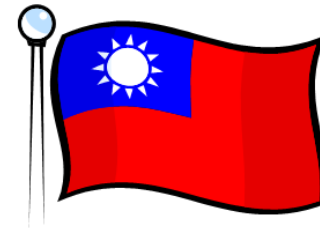
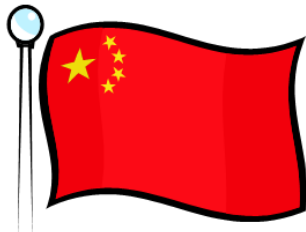
中国、韓国、台湾の主に特許に関する調査研究・意見発信を行っています。

□ 活動方針

- まずは、楽しく活動しよう！
- “日本企業”としてだけではなく各国の“一出願人”という立場で検討する
- JIPA内外の他組織とも積極的に交流する
- 調査成果の積極的な意見発信

□ 2021年度の活動

本年度は委員37名が4つの小委員会に分かれ、
Web会議を活用して活動しています。





第1小委員会：体制

テーマ	中国における専利権等の取得に関する調査研究 大竹（小委員長：アイシン）		
背景	・ 2016年頃からAI/IoT関連発明の出願が急増している ・ 中国特有の分割出願制度を日本企業はどう活用しているのか		
サブテーマ1 AI/IoT関連発明の出願動向		サブテーマ2 中国分割出願の活用方法	
狙い	近年出願件数が増加している 新技術分野について出願 動向と明細書作成の留意点 を調査する	狙い	中国特有の分割出願について JIPA会員企業の活用状況を 把握し分割出願の留意点を提 言する
メンバー	大竹（アイシン） 曾我（住友化学） 森下（オリンパス） 永島（リコー） 浅井（豊田自動織機）	メンバー	稲葉（マレリ） 廣瀬（三菱マテリアル） 立川（三菱電機） 南田（ScienBiziP Japan） 吉澤（凸版印刷） 殿村（セイコーエプソン）
アウトプット：「知財管理誌」へ投稿の予定			



第1小委員会 ～サブテーマ1&2～

□ サブテーマ1 : AI/IoT関連発明の出願動向

●狙い

- ・出願件数が増加している新技術分野について出願動向と明細書作成の留意点を調査

●アプローチ

- ・AI/IoT関連発明をIPC分類に基づいてマクロ分析
- ・現地代理人へのヒアリングを行うことにより、記載要件や発明保護適格性などAI/IoT特有の明細書作成の留意点を探る。

●アウトプット

- ・知財管理誌への投稿



□ サブテーマ2 : 中国分割出願の活用方法

●狙い

- ・中国分割出願についてJIPA会員企業の活用状況を把握し分割出願の留意点を提言

●アプローチ

- ・JIPA会員企業へのアンケート結果に基づいて活用状況や各企業の分割戦略を調査
- ・現地代理人へのヒアリングにより企業目線にはない考え方を提言

●アウトプット

- ・知財管理誌への投稿

分割の注意点は？



他の企業は分割出願
やってる？



第2小委員会：体制



テーマ

中国での専利権活用に関する調査研究

背景・狙い

中国での権利活用について有用な情報を会員企業に提供する

サブテーマ1（5名）

SEP*に関する訴訟現状の把握

*標準必須特許（Standard-Essential Patent）

中国でのSEPの取り扱いとは？

- ・多地域に同時に訴訟
（ASI vs AASI）



- ・ライセンス料の判断基準は？



- ・通信分野と、それ以外では差はあるの？

サブテーマ2（6名）

NPE*関連訴訟現状の把握

*不実施主体（Non-Practicing Entity）

中国でのNPEの動向は？

- ・各国での訴訟は増加しているが、中国では？



- ・どんなNPEがあるの？

- ・NPEにどう対応したらいいの？



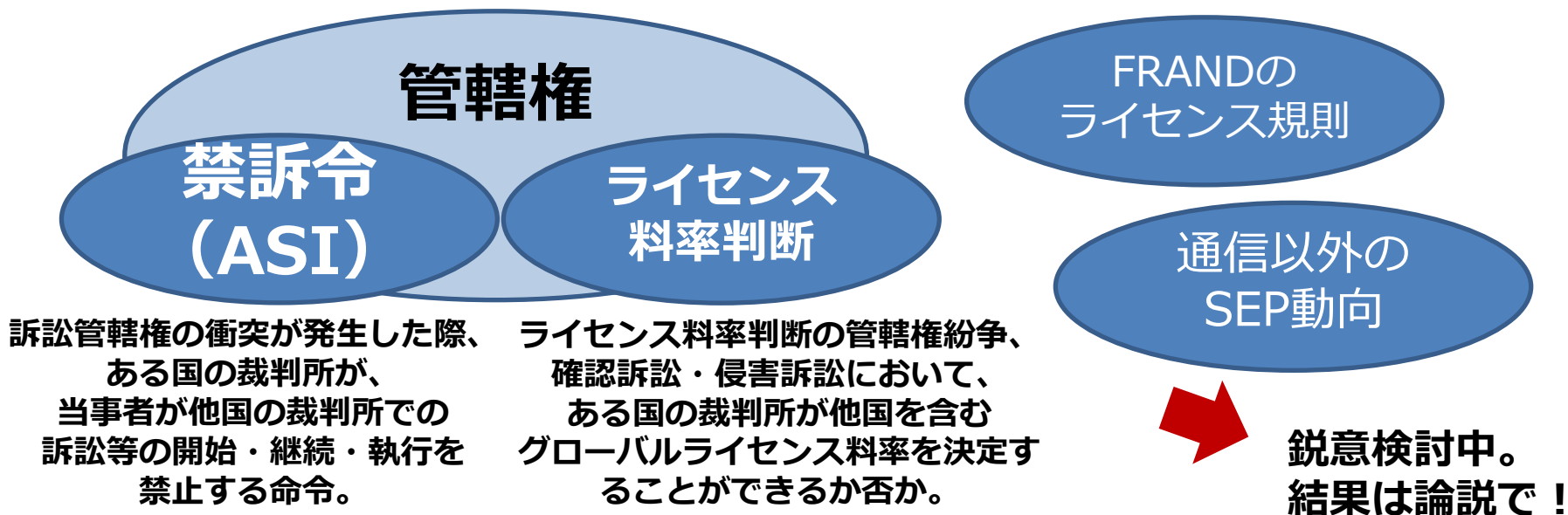
アウトプット：「知財管理誌」への投稿



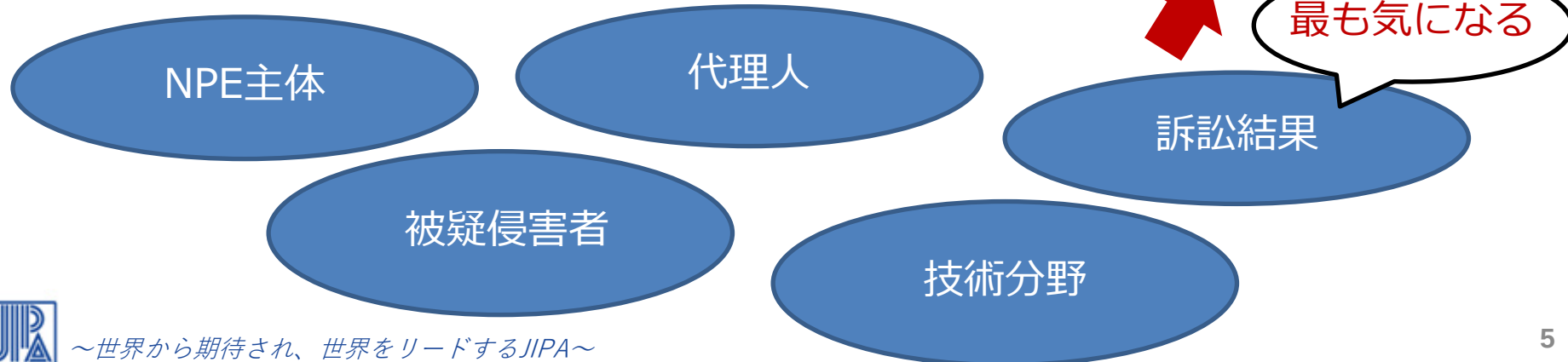


第2小委員会：研究テーマ

■ サブテーマ1：SEPに関する訴訟現状の把握



■ サブテーマ2：NPE関連訴訟現状の把握





第3小委員会：体制

テーマ	中国企業・中国政府における知財戦略の調査・分析	
背景・狙い	中国企業知財戦略について有用な情報を会員企業に提供する	
サブテーマ1 <u>中国での知財管理実態調査</u>		サブテーマ2 <u>中国企業気候変動対応の研究</u>
中国知財管理をアンケート実態調査 ・ 知財機能 ・ 中国での発明 ・ 中国出願・権利化の取扱い ・ 特許権の取扱い ・ 技術導入		中国政府・企業取り組みを紹介 ・ 中国政府による通達 ・ 企業による方針・ニュースリリース ・ 企業による気候変動関連出願状況
郷家（WGL：富士通） 合澤（ブラザー工業） 小笠原（住友電気工業） 今福（小委員長：ENEOS）		丸山（WGL：住友重機械工業） 裴（日本ゼオン） 岡田（トヨタ自動車） 今福（小委員長：ENEOS）
アウトプット：「知財管理誌」への投稿		





第3小委員会 ～サブテーマ1&2～

□ サブテーマ1 : 中国での知財管理実態調査

●狙い

- ・中国出願を行う際に、競合中国企業の動向をいち早く把握し、自社の中国出願戦略を立てるために、中国に知的財産部（または知財担当者）を置くメリットがあると思われる。実際、在中知的財産部は、どういう目的で設けられ、現地で誰が（日本人/現地スタッフ/現地事務所）がどのような役割を担い、どのような活動をしているか、そしてその効果について探る。また中国で創出される産業財産権および技術情報についての知財ガバナンスの実体を（輸出管理法の規定も考慮して）検討する。

●アプローチ

- ・会員企業へのアンケートによる実態調査

□ サブテーマ2 : 中国企業気候変動対応の研究

●狙い

- ・中国の習近平国家主席は2020年9月22日、二酸化炭素（CO₂）排出量を2030年までに減少に転じさせ、2060年までにCO₂排出量と除去量を差し引きゼロにするカーボンニュートラルを目指すと表明した。政府や企業の取り組みを調査する。

●アプローチ

- ・政府からの通達や企業の方針・ニュースリリースを調査
- ・カーボンニュートラルに関する特許出願状況調査





第4小委員会：体制

□ 経緯

- ・2020年度まで中国・韓国・台湾におけるパブコメ対応等の意見発信といった提言活動を担っていた「アジア戦略プロジェクト 法改正ワーキンググループ」から、特許と実用新案の分野に関する活動を引き継いだ小委員会です。

□ 体制

- ・国際第3委員会の委員に加え、過去の対応経緯の助言の点でプロジェクト経験者、等をメンバーに加えた以下のメンバーで議論して活動しています。

小委員長	谷本 英之	キオクシア株式会社	プロジェクト経験者
委員	小林 英樹	帝人株式会社	留任
委員	杉山 佳	三菱重工業株式会社	留任
委員	熊谷 宜子	日鉄総研株式会社	新任
委員	森 あかり	日本電気株式会社	新任
委員	吉原 利樹	東芝ビジネスエキスパート株式会社	アドバイザー委員（プロジェクト経験者）
委員	北島 穂高	東レ株式会社	アドバイザー委員（プロジェクト経験者）
委員長	寺川 耕司	住友ベークライト株式会社	オブザーバー参加
－	古谷 真帆	JIPA事務局	－



第4小委員会：活動内容

□ 中国・韓国・台湾のパブリックコメント対応

- ・各国当局からのパブコメ募集に対して意見発信を行っています。

国際第3委員会

TIPO

CNIPA

KIPO

□ 要望整理

- ・各国当局や関係団体との意見交換会等の際に、

実現したい要望を伝達するために、要望事項の整理をおこなっています。

- ・コンピュータプログラムの特許対象化。
- ・外国語特許出願の認容。
- ・新規性喪失の例外の拡大。
- ・分割出願の時期・要件緩和。
- ・訂正審判制度の導入。
- ・間接侵害規定の導入。
- ・特許実施行為への「輸出」の追加。
- ...

□ 意見交換会への参加等

- ・各国当局や関係団体等へ要望等を伝え、要望が実現されるように働きかけをしています。例えば、JPO国際政策課、JETROソウル、日台交流協会、CNIPA/KIPO/TIPOの審査官。

□ 訪問団

- ・要望等を直接伝えることによって、要望がより実現されるようにしています。訪問団等の直接の意見の交換によって、現地との関係を構築し、要望の推進を円滑にします。

※コロナ禍のため、活動停止中。



第4小委員会：活動の紹介

- 実際の活動の一部をご紹介します。

国/地域	2021年度のイベント	対応
中国	専利出願行為の規範化に関する 若干の規定の改正草案（意見募集稿）	意見提出
台湾	専利審査基準第二篇第十二章 (コンピュータソフトウェアに関する発明) 改正案	対応見送り
中国	日中法制度・運用意見交換会	講演参加
台湾	専利法部分修正草案第2稿	意見提出
韓国	Seoul Japan Club を通じた韓国政府（特許庁）への 建議	建議提案
中国	専利審査指南改正草案（征求意见稿）	意見提出
中国	「令和3年度知的財産保護包括協力推進事業」 (知的財産に関する日中共同研究調査) 意見交換会	講演参加